



# 飛鶴の森林から

第43号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

## 各地の小中学校で森林教室を開催

### 標茶町立中茶安別小中学校

9月2日(木)、標茶町立中茶安別小中学校で夏の学校林「るんるんフォレスト」活動が行われ、学年ごとに分かれて森林教室を行いました。

今回は、森林管理署の森林官も講師として参加し、3班に分かれて行いました。小学校低学年(1~2年生)は、学校林にある樹木の葉9種類を探しながら樹木の名前や特徴を学習しました。小学校高学年(3~6年生)は、樹木の葉を採取し、鉛筆で葉の形をこすり出し、樹木の名前や特徴を学習しました。中学生(全学年)は、これまで学習してきた数学を利用して、木の高さを知る目測の方法などを学習しました。



低学年(1~2年生)

中学生



高学年(3~6年生)

### 白糠町立茶路小学校



森林教室の様子

9月7日(火)、3年生~6年生20名を対象に学校林を活用した森林教室を行いました。今年度3回目の森林教室で、白糠町林務課の皆さんと協力して行いました。今回は6月に実施した学校林探検で疑問に出たことを、「生物グループ」、「二酸化炭素グループ」、「木材グループ」など5つのグループに分かれ、子どもたちから質問がありました。たとえば、「学校林にはどんな生物がいて、どこに住んでいますか?」、「学校林に植えられているカラマツは何に使われますか?」、「学校林が洪水を防ぐ仕組みを教えてください!」などです。子どもたちに解るように説明することはなかなか難しいものでした。

### 釧路市内「ことばの教室」

9月11日(土)、釧路市立共栄小学校で、釧路市内の「ことばの教室」の子どもたちとその保護者20名を対象に、「飾り炭づくり」、「竹とんぼ」などで楽しみました。特に竹とんぼでは、羽の角度をいろいろに変えながら、少しでも飛ばすように子どもたちが工夫していました。



飾り炭作り



竹とんぼを飛ばして遊ぶ子どもたち

### 厚岸町立高知小学校



森の働きのお話

学校林での樹木観察

9月14日(火)、3年生~6年生4名を対象に森林教室を行いました。教室で「森林の働き」について話をした後、学校の隣にある学校林の樹木観察を行いました。子どもたちからは、「木は何年くらい生きられますか? 森には寿命がありますか?」、「木は酸素のほかに何かを出していますか?」などの質問がありました。

## 第2回 「森林ボランティア養成講座」 開催

9月5日(日) 今年度第2回目の「森林ボランティア養成講座」を雷別国有林及びパイロットフォレストで開催しました。今回は、「シードトラップ設置」、「森林セラピー体験」と題して実施しました。

「シードトラップ設置」では、ミズナラの種(ドングリ)の結実状況を確認し、種が実っている枝の直下にシードトラップ20枚を設置しました。これは、雷別地区自然再生事業では事業地周辺で採った種から苗木を育て、植栽し、元の森林に戻すこととしているため、苗木作り用の種の採取を行うものです。

午後からはパイロットフォレストに場所を移し、「森林セラピー体験」を行いました。講師には森林プロデューサーの山中氏を招き、「森林セラピーの歩き方」と題してパイロットフォレストの遊歩道を利用して行いました。普段行っている森林浴とは違い、かなりのスローペースで歩きます。また、樹木などの説明もありません。周辺の樹木・草花を直接手で触れ感触を楽しんだり、香りをかきながら森林セラピーを体験しました。

参加者の皆さんは、午前中は自然再生のお手伝いを行い、午後からは森林の楽しみ方を体験されたことと思います。次回は、10月31日(日)に雷別国有林で「種子の採取とキノコの観察会」を行う予定です。



シードトラップ設置  
(雷別国有林)



森林セラピー体験(パイロットフォレスト遊歩道)

## 第3回 「雷別ドングリ倶楽部」 活動



木材の伐採・枝  
払い・玉切り用のア  
タッチメントに驚  
く参加者たち

野生動物自動撮影カメラの  
説明を受ける参加者



ヤマブシタケの説明を  
聞く参加者

9月8日(水) 会員12名が参加して第3回「雷別ドングリ倶楽部」の活動をパイロットフォレストで行いました。今回は趣向を変え、「カラマツ間伐材の伐採・搬出・集積現場の見学」、「遊歩道の散策」を行いました。

午前中は根釧西部森林管理署企画官の案内で、カラマツ間伐材の伐採・搬出・集積現場を見学しました。雷別ドングリ倶楽部では、種子から育てた苗木を植える取組などを中心に自然再生事業に関わる活動を行っていることから、木材伐採現場を見るのが初めての方が多く、大型機械での木材の運搬、集積作業に驚いていました。

午後からの遊歩道の散策では、最初に野生動物自動撮影カメラの設置箇所を見学し、どのような野生動物が生息しているのか、自動撮影カメラがどのように野生動物を撮影するのかなどについて担当者から説明を受けました。また、散策の途中で見つけた山伏茸(ヤマブシタケ)をキノコに詳しい参加者に臨時で解説をしてもらうなど全長1,000mの遊歩道をゆっくりと散策しました。

今回の森林管理署・ふれあいセンターの業務の見学が、今後の雷別ドングリ倶楽部の活動に少しでも励みになればと思います。

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL [http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro\\_fc/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html)

E-mail [h\\_kusiro\\_f@rinya.maff.go.jp](mailto:h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp)